お祖師さまをお訪ねする物語 第2回

高祖日蓮大士ご降誕 800年慶讃

お祖師さま（日蓮大士）は、仏様の教えを学ぼうと、十二歳の時に清澄寺（安房の国・現在の千葉県小湊）に入り、十六歳で得度（仏様の教えを修行するお坊さんになること）し、三十二歳まで、いろんなお寺を訪ねて勉強されるんだ。今月は、近畿地方で最初に勉強された比叡山と園城寺のお話だよ。

比叡山延暦寺

延暦寺は延暦七年（七八八）、比叡山に伝教大師最澄（平安時代のお坊さんで、中国に行って仏様の教えを学び、法華経を信じる天台宗を立てた）が一乗止観院（後の根本中堂）というお堂を建てたのが始まりなんだ。京都の北にあるので北嶺とも言われるんだよ。

延暦寺は、仏様の教えを勉強する人にとっては一番の学校で、鎌倉時代には、関東地方からは毎年二十人位の若いお坊さんが延暦寺で勉強したんだそうだよ。

お祖師さまは、下総国若宮（現在の千葉県立川市）の領主（その土地と住んでいる人を支配している主）・富木胤継さん（鎌倉幕府の役人で、お祖師さまを援助した熱心なご信者）から学費を出してもらい、仁治三年（一二四二）二十一歳の時に比叡山に行かれるんだ。

比叡山延暦寺は、実は一つの寺院ではなく、山の中に数多くのお寺があって院とも房とも呼ばれているんだよ。多い時には三千もあったんだ。それらの寺は三箇所に分かれていて、東塔、西塔、横川と呼ばれているんだ。

お祖師さまが、比叡山でお住まいになられた定光院。鬱蒼とした杉林の中にある

お祖師さまは定光院に暮らして、６年間にわたり勉強に励まれた

お祖師さまは、最初は東塔にある大乗院で勉強され、やがて比叡山の総学頭（先生の代表）・俊範から、その勉学の才能を認められて、横川にある定光院に住んで勉強することになるんだ。そしてここで、法華経と大日経を学び、六年間の勉学の後、その優秀さを見込まれて、教えの師である俊範から、他の寺院で仏様の教えを学ぶことを勧められるんだ。お祖師さまが二十七歳の時だったんだ。

やがて各地で勉強の後、建長三年（一二五一）にふたたび比叡山に戻り、定光院で一年半にわたり勉強の成果をまとめられて、建長五年（一二五三）の立教開宗にとつながるんだ。

定光院の中にある、お祖師さまが暮らしていた時に使われていたという清水が湧き出ている井戸

園城寺

お祖師さまが比叡山での勉学の後、最初に行かれたお寺が園城寺なんだ。朱鳥元年（六八六）、天武天皇の時に創建された古いお寺で、ここには歴代の三人の天皇（天智・天武・持統）が産まれる時に使った井戸がある所から、三井寺とも呼ばれるんだ。

平安時代には、比叡山の麓、琵琶湖の南にある所から延暦寺の別院と呼ばれるようになるんだ。でも、五百年近く「山門（延暦寺）寺門（園城寺）の抗争（争い）」が続き、大小合わせて五十回も戦いがあって、ほとんどの建物は壊され、現在建っている物は江戸時代よりも後のものばかりなんだ。

お祖師さまは、この後、日本で最初に仏様の教えが伝えられた、奈良にあるお寺で勉強されるんだよ。そのお話は来月号でね。

園城寺の山門（仁王門）慶長６年（1601）に徳川家康が寄付したとされる